

# 「小河内」便り 第24号 平成25年7月



営利活動法人 小河内プロジェクト (理事長 渡辺眞作)

連絡所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3

安佐小河内集会所

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

例年より10日ばかり早く梅雨が明けました。既に30度を超える暑日が続き、毎日のように熱中症のことがニュースになっています。これから夏本番を迎えます。更に猛暑が続き暑い夏になるのでしょうか。健康に十分留意し、元気に秋を迎えましょう。

## 第3期通常総会開催

第3期通常総会が6月23日、小河内集会所で開催されました。

議長に安福孝昭副理事長を選任、下記議題を審議し、いずれも原案通り承認、可決されました。

- 1・第2期事業報告承認の件
- 2・収支決算承認の件並びに監査報告
- 3・定款変更の件
- 4・役員改選の件
- 5・第3期事業計画案
- 6・第4期活動予算案

定款変更は主に法改正に伴う活動の種類追加や収支予算から活動予算へ、と言う文言の変更です。

役員改選については、理事全員9名の留任、新しく増田正幸氏、佐々木英孝氏、下本静恵氏を選任  
監事は玉田裕司氏が留任、岡田和子氏が退任、渡辺頼子氏が新しく選任されました。

尚、総会後の臨時理事会で渡辺眞作理事長、安福孝昭副理事長が再任されました。

事業報告では農業体験やツーリズムに約750人の都市住民が参加、弥太郎君が約800袋販売したこと、  
と、どんどん農園と有料配食が事業を終了(廃止)したこと等が報告された。

3期計画では農業体験やツーリズムは前年通り、炭関係の販売計画40万円が承認された。



会で挨拶する渡辺理事長



総会会場の様子

人間と自然が共生する「さとやま・小河内」

# 源 快 集 楽・小 河 内

「広島市の源のまち、快い暮らしができるまち、人が集まる、楽しいまち」

市内中心部から車で約1時間、市内一番の「田舎・小河内」の農村体験ツーリズムで豊かな自然や農村文化に触れ、学び、リフレッシュしませんか。

## 平成25年度、農村体験ツーリズム計画

詳細はHP、小河内便り、安佐公民館「なかま」、「市民と市政」等でお知らせします。

<p><b>小河内川の観察会</b> 小河内川の生き物観察や川遊びを楽しもう 8月24日(土) 10:15~15:00 小峠集会所 参加費: 1050円 (昼食、そうめん流し) 募集人数: 30人(抽選)</p> 	<p><b>牛頭山(689m)登山</b> 牛頭山城跡、宮島や中国山脈の山脈が一望 10月12日(土)</p> 
<p><b>柿もぎ体験と吊るし柿の作り方講習会</b> 柿もぎ体験と吊るし柿の作り方で田舎をお楽しみ下さい。 10月26日(土)</p>  	<p><b>ゆずもぎ体験とゆず酢の作り方講習会</b> ゆずもぎ体験とゆず酢の作り方 11月23日(土)</p>  
<p><b>漬けものづくり講習会</b> 田舎の伝統食、漬物の作り方を名人が教えます。 11月30日(土)</p>  	<p><b>竹林整備と門松づくり体験</b> 孟宗竹を切り、門松づくりを体験します。 12月7日(土)</p>  
<p><b>炭焼き体験とBBQで交流会</b> 炭焼き体験とBBQでお楽しみを 2月15日(土)</p>  	<p><b>滝山登山(692m)と交流会</b> 小河内の最高峰、矢が谷集落跡を見ながら登山 3月8日(土)</p>  

NPO 法人小河内Oプロジェクト

# 森林や耕地の公益的機能について

5月に植えた稲が株分けし、今夏の太陽の日差しをいっぱい受け、成長しています。

多くの恵みを与えてくれる自然には、人力ではとても及ばない大きな力があることに神秘性すら感じます。今、日本の農業は担い手の高齢化やTPPで揺れています。農業は私たちの「いのち」を繋ぐ大切な産業で、その産物を神聖なものとして、供物として神仏に供えます。今、中山間地ではその生産現場である農地、農業が崩壊の危機にあります。このことは、単に農産物が取れなくなるだけでなく、環境保全や国土保全（洪水防止等）等の公益的機能にも大きな影響を与えることも十分考えを及ぼさなければいけません。森林や農地、農業は、水源の涵養（降水の貯留、洪水防止、水質浄化）や土砂流失防止、土砂崩壊防止、保健・休養、野生鳥獣保護、大気浄化、有機物分解、生き物の生息地等、多面的な機能があります。少しデータは古いですが森林や耕地の公益的機能を経済評価した数字が発表されていますので紹介します。（下表）これによると、全国の森林と耕地が持つ機能を経済評価すると80兆円余りになり、広島県の耕地は900億円と推定されます。

農業体験やツーリズムに参加した都市住民は、多様な生き物に触れ「食」や「いのち」の繋がりを学び、又精神的やすらぎを覚える、自然や農村の大切さを訴えています。農地や農業を国の共有財産として、皆で守ることが大切です。

## 農業・農村の有する公益的機能の評価額

評価額資料；1998年総合農業研究所等、耕地面積資料；2005年統計

	面積ha	広島県の割合	評価額（億円）
全国耕地面積	4,692,000	100.0%	69,000
広島県耕地面積	60,500	1.3%	900

広島県の評価額は全国の面積比で推定した。

## 広島県山林と農業、農地の公益的機能評価額（推定）

	面積ha	広島県の割合	評価額（億円）
広島県林野面積	622,213	2.5%	18,750
広島県耕地面積	60,500	1.3%	900
合計	682,713		19,650

林野庁（2000年）及び総合農業研究所等（1998年）の作成した資料に基づき広島県の評価額を推定した。

## 森林の公益的機能の評価額

評価額資料；2000年林野庁、全国林野面積資料；2000年センサス

	面積ha	広島県の割合	評価額（億円）
全国林野面積	24,918,017	100.0%	750,000
広島県林野面積	622,213	2.5%	18,750

広島県の評価額は全国の面積比で推定した。





平成22年7月、小河内を襲った集中豪雨による小河内川の氾濫（小峠集落）

## 7月・8月の行事予定

日時	行事名	内容
7月27日（土）	ハウス食と農と環境の体験教室	田んぼの草取り、バターづくり等
7月28日（日）	白島商店会酒米づくり	田んぼの草取り、バターづくり等
8月18日（日）	小河内川遊び	水遊び、魚釣り等、そうめん流し
8月24日（土）	小河内川の観察会	生きもの観察、水遊び、そうめん流し



小河内の農家は自家用に季節の野菜や花などをつくる。

## 編集後記

今、毎日のように30度を超える真夏日が続いています。私たちは、便利で快適な暮らしを求め、多くのエネルギーの使い、ゴミを捨てています。その結果、地球の温暖化、と言う代償を負いました。

相次ぐ異常気象は地球温暖化と無関係ではない、とされています。

人間の際限なき欲望に任せると、何時かは地球の破滅に繋がるのではないかと、懸念されます。

質素で不便ですが、田舎の暮らしには、地球を守り、暮らしを守る多くのヒントがあります。

農村体験ツーリズムではこうした視点からも学んで欲しい、と思っています。（S）